

川崎区地域自立支援協議会 ともに暮らすまちづくり ～みんなにやさしい川崎区～

平成27年10月29日 川崎市地域自立支援協議会連絡会

平成27年度 川崎区地域自立支援協議会の活動内容

☆毎月1回の事務局会議

☆毎月1回の全体会議
・ワーキングチーム
・専門委員会



意見交換会からワーキングチームへ

平成25年

意見交換会…フリートークで構成員の抱える課題を抽出



平成26年

意見交換会…平成25年度の内容を整理してグループ討議
「児童期」「成人期」「高齢期」



平成27年

ワーキングチーム…平成25年、26年度で整理した課題の
解決に向けての具体的な活動を行う。

児童期ワーキングチーム

児童期の課題

- ・家族からの声
 - 「利用できるサービスの種類が複雑で分かりにくい」
 - 「相談したら、支援機関をいろいろまわしにされた」
- ・相談窓口がわかりにくい。
- ・児童のサービスの種類がわからない。

解決に向けての協議会での取り組み

- ・「児童家庭課」の方に声をかけ、児童期の支援体制など、チーム内に説明をしていただきました。
- ・支援者向けに児童期の相談機関の一覧を作成中です。



成人期ワーキングチーム

成人期の課題

- ・生活介護事業所利用者の通所後の余暇の過ごしが限られている。
- ・就労をしている方で余暇を助ける情報を手に入れる方法が限られている。

解決に向けての協議会での取り組み

- ・休日を充実できるような情報をまとめています。
- ・情報量を整理し、見やすい冊子を作成しています。



高齢期ワーキングチーム

高齢期の課題

- ・グループホームで生活している方の高齢化。
- ・若年性認知症の発症された方への支援の難しさ。
- ・介護保険対象になった方への支援の連携
- ・介護保険対象の親と、障害を持った方への家族支援

解決に向けての協議会での取り組み

- ・障害者本人や家族も高齢化し、高齢特有の疾病を知る機会を持ちたいとのことで、支援者向けの研修を行います。
- ・地域包括支援センターとの意見交換会の継続開催を予定しています。



平成27年度 専門委員会

広報委員会

研修委員会



区課題整理委員会

各専門委員会の取り組み

広報委員会…

広報委員会では、「地域の方に協議会を知つてもらおう」との目標から、町内のイベント(町内の盆踊りの見学、大運動会のお手伝いなど)に参加をして、地域の方々と触れ合う中で関係を築いていく活動をしています。



区課題整理委員会…

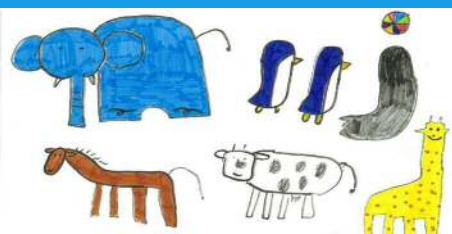
これまでの意見交換会で挙がった課題を整理して、区協議会で取り組めるもの（意見交換会や委員会設置、研修など）と整理しています。

研修委員会…

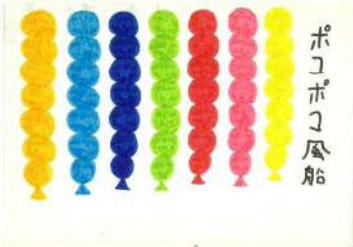
構成員の抱える課題に対し研修を行っていくことにしました。また、利用者へ適切な情報を提供していくために地域の社会資源を知る機会を設けることにしました。

南部地域療育センターの見学会、だいJ0Bセンターをお呼びして役割や生活困窮者自立支援法の研修を行いました。

12月には、医療少年院の現状などを知るための研修を行う予定です。



ご清聴ありがとうございました。



幸区地域自立支援協議会の取り組み

つながりのある住みやすい街をつくろう ～課題をキャッチ～



川崎市地域自立支援協議会連絡会議

平成27年10月29日(木)

発表者

地域相談支援センター「ラルゴ」 日野 淳
地域相談支援センター「あんさんぶる」 宮本 正教

1

人口 160,210人
75,060世帯



幸区の特徴

町内会や自治会
の加入率は、
一番高い区だよ。

川崎市内で一番人口の少ない
区だけど、人口密度は2番目
に高い区だよ！

3つの河川に囲わ
れていて加瀬山以
外は平坦な土地
が広がっているよ。



面積10.09 km²

■
老人人口の割合が高
いけど小学生も増え
ているね。



公営の借家などに
住む人の割合が
高いよ。

障害者手帳所持者：
身体障害者手帳：4968人
療育手帳：1032人
精神保健福祉手帳：1092人
(自立支援医療(精神通院)受給者：1993人)
H26.10月末の集計



住民の約86%の人が
住みやすいと思っ
ているみたいだよ。

参考資料：○幸区役所HP／○市民・こども局市民生活部市民活動推進課
町内会自治会ハンドブックH22／○「H25幸区区民アンケート調査」幸
区役所企画課／○健康福祉局地域福祉部保護指導課 資料／○幸区
障害者支援係 集計／○「川崎市の学校」総合企画局都市経営部統計
情報課

幸区地域自立支援協議会の構成員

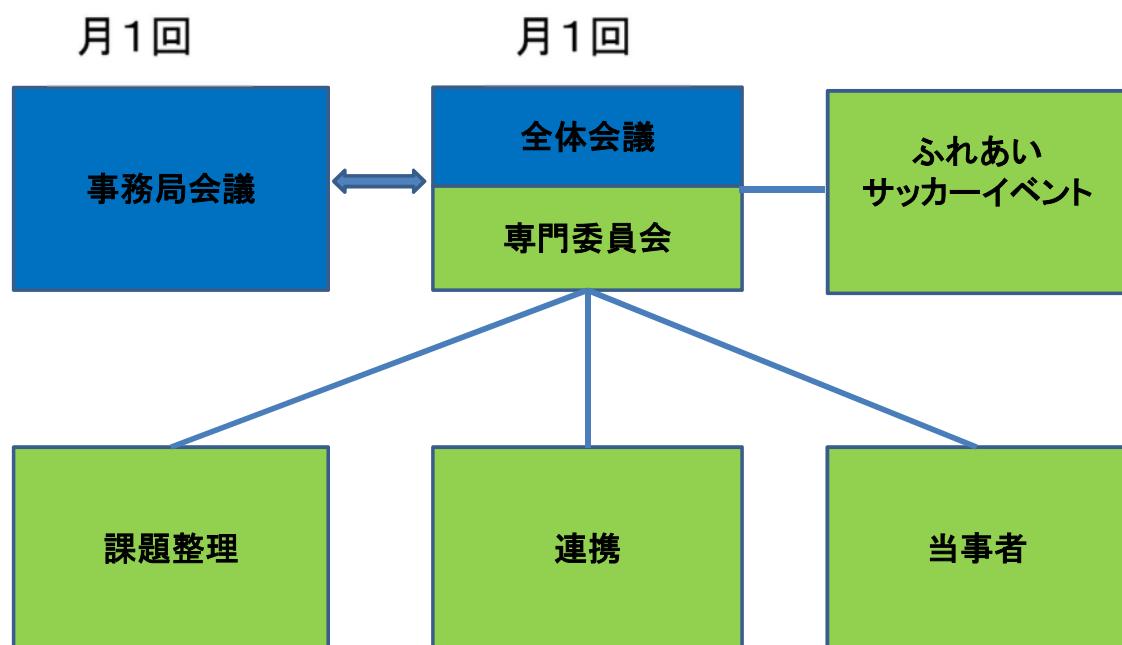
- ・障害者福祉施設・事業所
- ・特別支援学校
- ・更生相談所
- ・精神保健福祉センター
- ・地域療育センター
- ・保健福祉センター
- ・相談支援センター

【合計20名】



3

幸区地域自立支援協議会組織図(H27年度)



4

キーワード①『家族がつながる』

目標

父親と子供がふれあい、父親同士がつながりを持つ機会を設け、父親の力を支援の場面で発揮していただききっかけ作りを目指す。



「事務局(担当者)」を中心に企画・運営

活動内容

お父さんと障がいのある子どもたちのふれあいサッカーイベントを実施

幸区地域自立支援協議会 企画

2015
11/29
(日) **お父さんと、障がいのある子供たちの
ふれあい
サッカーイベント**

参加費
無料

お父さんと、スポーツを楽しむ経験が少ない障がいのあるお子さん!!
川崎フロンターレのスクール普及コーチと一緒に、
サッカーを楽しみましょう!!

川崎フロンターレが
Frontale

日時 平成27年11月29日(日)
午後2時から午後3時30分
受付開始 午後1時30分から

場所 東芝小向体育馆
川崎市幸区小向東芝町1番地

対象
幸区にお住まいで、
障がいのあるお子さん(小・中・高校生まで)と、
そのお父さん(先着20組)
※参加が決定した方には、当日の案内を郵送致します。
お母さんとの参加も、歓迎します。

持ち物
上履き、飲み物、汗ふきタオル、運動できる服装

申込
裏面の申込用紙にて、FAXでお申込みください。
受付開始: 平成27年10月15日(木) 9:00から
締切: 平成27年11月20日(金) 17:00まで
※当日は一部、お子さんと離れて、親御さんの交流の時間をとります。

川崎駅西口北より
東急バス: 川31、33、34系統「東芝前」下車
川崎市バス: 川73、74系統「小向交番前」下車

幸区役所 高齢・障害課 障害者支援係
お問い合わせ 044-556-6654

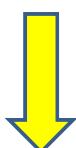
幸区地域自立支援協議会
地図掲載と共に接続・全画面モードにするため、縮尺開閉機能の重なります。



キーワード② 『地域資源とつながる』

目標

障がいのある方がいきいきと生活を送るためにには地域の方とのつながりが必要であり、その第一歩として町内会や民生委員児童委員との連携を模索する。



「事務局(委託相談支援センター)」がパイプ役となり協議会内で情報共有

活動内容

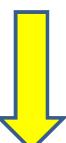
- ・町内会、民生委員児童委員との意見交換
- ・HUG(避難所運営ゲーム)の実施

7

キーワード③ 『当事者とつながる』

目標

障がいのある方が直接課題解決に参加できる仕組みを構築する。



「当事者委員会」が中心となり活動



活動内容

当事者委員の公募に向けての要項作成や広報、選考方法などについての検討を行う。

8

キーワード④ 『関係機関とつながる』

目標

関係機関との連携の中から、課題の整理と解決に向けた取り組みを行う。



活動内容

- ・教育機関との連携
- ・南部療育センター見学会
- ・地域包括支援センターとの交流会
- ・新規事業所等の事業説明会(3事業所)



9

キーワード⑤ 『構成員がつながる』

目標

- ・障がい者支援従事者がどのような悩みや課題を抱えながら支援を行っているかをお互いに知り、情報共有や支援のスキルアップにつなげる。
- ・障がい者にかかる課題解決に向けて連携を図りながら取り組む。



活動内容

- ・「ひとことタイム」の実施及び課題整理
- ・事例検討会

10

中原区地域自立支援 協議会

平成27年10月29日

今年度の取り組みに向けて

昨年度の構成メンバーからの意見を基に、

「区内の関係機関、民生委員や不動産会社をはじめとした生活をしていく上で関わっていく地域の多くの人たちとのつながりを持つこと」
「地域のみなさんのそれぞれ抱えている課題を協議会として支えていくこと、抽出していくこと」
を長期目標にして、単年目標の設定をし、それぞれに取り組みを行っている。

今年度のテーマ 『つながろう中原』

二つの委員会の立ち上げ

●普及啓発委員会

●中原事業所間連携委員会 (通称 NJR 委員会)

普及啓発委員会

読んで字の如く、協議会の普及、地域資源力向上に向けた啓発が目標

- ・民児協への定期的な参加、民生委員総会への参加(予定)
- ・地域包括支援センターとの情報交換
- ・なかはら福祉健康祭りで、協議会の活動内容、構成メンバーの紹介(事業所紹介)
- ・12月に行われる一般公開研修会の告知
- ・なかはらファミリーの運営・企画
- ・当事者・家族とどのような形で自立支援協議会という場で協働できるかを考え、当事者・家族から話しを伺う機会を設けます。

単年目標は？

●中原区地域自立支援協議会の広報誌を発行

➡ 平成28年2月 創刊号発行に向けて準備中

●HPの立ち上げ

➡ 中原区のHP内に協議会のページを立ち上げ準備中

中原事業所間連携委員会 (通称 NJR 委員会)

事業所間連携 とは？？

区内の障害児者事業所、養護学校、聾学校、聴覚障害者情報文化センター等々

それぞれが互いを知ることで、障害当事者のみでなく民生委員や

不動産会社をはじめとした、生活をしていく上で関わっていく地域の多くの人たちに

資源(サービス)が紹介ができる、つながっていくことを目標としてます。

単年目標

協議会の構成メンバー間でも、事業名称は知っているが、どんな特徴があるのかわからないなどの状況であったため、

「 協議会の中からつながろう、そして発信しよう 」

を目標にし、各事業所の紹介冊子を作り、掲示配布をする。

地域課題の抽出

事例を通じて

それぞれの専門分野からの着眼で課題の抽出作業
解決すべく課題の見つけ方、解決の仕方を知ることで
構成メンバーが抱えている課題を解決していく
協議会の構成メンバーの課題解決から地域の課題解決に向けて

協議会として地域課題の解決＝地域資源の向上

なかはらファミリー

27年度は7月、11月、2月に開催

毎月、実行委員さんが中心となって企画・運営について話し合い、参加者全員で楽しめるイベントにできるよう頑張っています！

7月は七夕のイベント
「天まで届け！かわさき色輪っかつなぎ」
に参加しました。



みんなで願い事を書いた輪っかをつなげました！



なかはら健康福祉まつり

11月21日(土)開催予定

ゲームに参加してくれた方に中原区内の事業所自主製品をプレゼント♪

協議会の活動内容を紹介したパネルやリーフレットで地域の方に協議会を知ってもらえるようPRします



一般公開研修

12月18日(金) 14:00~16:00 中原区役所 501会議室にて

「 矯正施設からの自立
～地域に求められるもの～ 」

神奈川県地域定着支援センターの取り組み

まとめ

中原区地域自立支援協議会として取り組んでいること
なんのために？誰のために？
そして続けていくためには？

地域のためにできること
地域全体で取り組んでいくこと！

平成27年度 構成員

構成員	人数
当事者（なかはらファミリー実行委員）	3名
障害福祉サービス事業者	7名
教育関係機関（特別支援学校など）	2名
児童関係機関（地域療育センターなど）	5名
高齢関係機関	1名
就労関係機関（就労援助センターなど）	3名
専門的相談機関（更生相談所・精神保健福祉センター等）	2名
その他（保健福祉センター4名）	4名
相談支援センター（基幹・地域）	10名
合計	37名

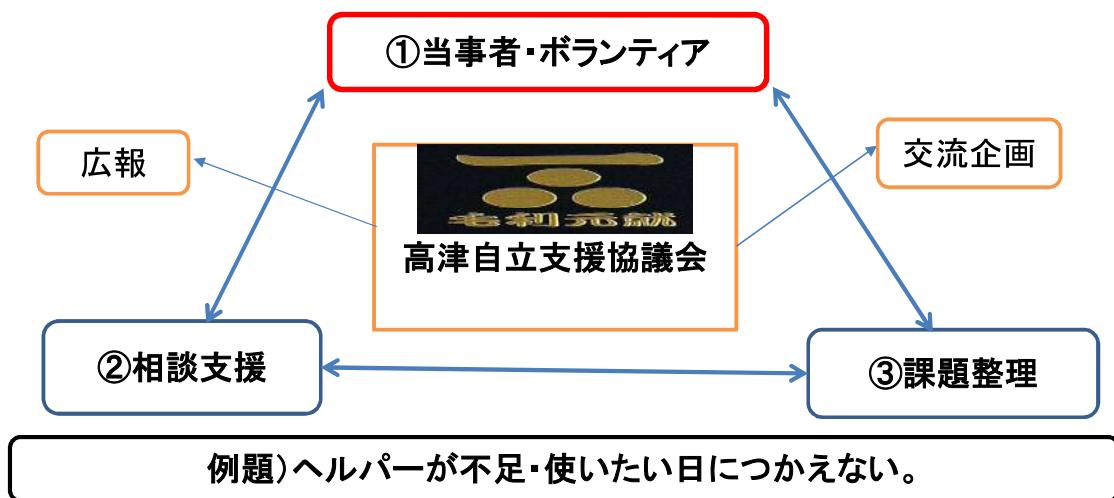
ご清聴
ありがとうございました

高津区3本の矢作戦 ～5年でこんな街にしたい 夢から実現へ～



高津区地域自立支援協議会

3つの委員会の繋がり、5年後のイメージ



【こんな感じになるといいなあ】

②で出てきた課題を⇒③へ

③では施策や仕組みの課題は市協議会、制度で届かない「ちょっとこまった時だけお助け隊」が地域の中でできないか? ⇒①

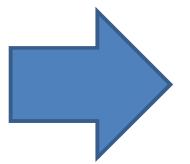
①で地域の中で同じ問題意識、何かやりたい人と課題を繋げないか?

課題整理委員会では…。

【5年後の目標：地域課題を1つ解消し、解決へのルートを1本つくる】

過去4年間の経過

<1年目>
○「区で出た課題整理票」の整理・検討・優先順位を決める作業。
* ヘルパーの課題の多さから、次年度の重点項目に挙げる。



<2年目>
○居宅サービス事業所への訪問による聞き取り調査の実施と、課題整理(KJ法)。
○区で取り組めることとして、「出前講座」の検討。

<3年目>
◆ 出前講座講義内容の精査とチラシ作成など、実行への諸調整
◆ 課題表提出以外にも地域課題を拾う範囲の拡大（協議会・サー調会議、調整会議）
◆ 課題の区内でのフィードバック実行（課題整理委員会で項目ごとにまとめ、問題点を整理）



<4年目>
・課題抽出、整理、フィードバック
・出前講座の実施
・協議会内にて「グループ討議」の実施（フィードバックした課題を全構成員で検討・共有化する）

5年目(今年度)

○出前講座の継続

居宅サービス事業所、放課後等デイサービス、子ども文化センター（わくわくプラザ）など依頼事業所が増えている。内容は主に「障害児者」について。
養護学校から「障害児者サービスについて」の依頼（未実施）。
依頼内容に応じて、内容の精査を実施。

○高津区内における課題の共有とフィードバック

3か月に1度、出てきた課題を委員会で精査し、構成員で課題の共有、グループワークにて精査を実施

《5年間の成果と今後活動》

＜平成28年度課題整理委員会活動計画＞

◇課題整理
最新の課題をひろう。
地域課題への意識を継続する。

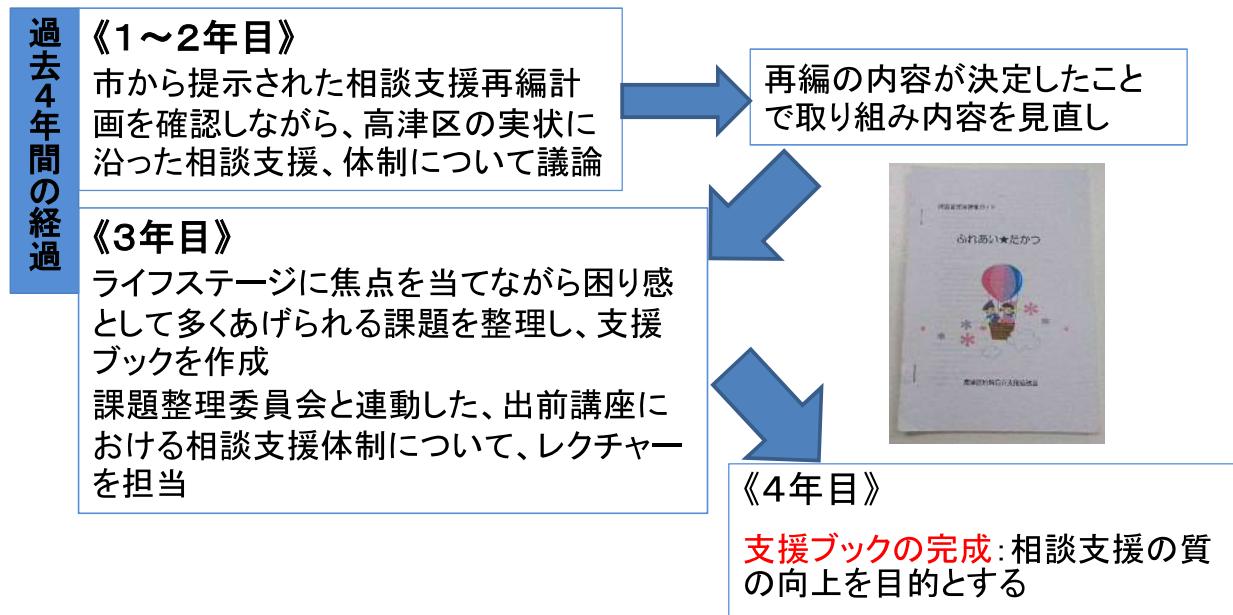
◇グループ討議
地域課題の共有化
構成員の交流

◇出前講座
ターゲットを絞っての営業
r 「障害サービスの理解」
【例】養護学校
* 話があれば、他の講座も実施する。

相談支援委員会では…。

初年度に設定した

【行政の仕組みに限定しない区の相談支援のあり方を示す】



平成27年度の取り組み

◎市障害福祉計画における重点目標である地域移行・地域定着支援に着目

●高津区の現状

障害福祉サービスのメニューとなってから現在までの利用者数はわずか数件
→ 区内のニーズを適切に反映しているのか？
→ 他に阻害要因はあるのか？

●区内唯一の地域移行支援対象施設であるハートフル川崎病院と顔の見える関係性を構築することにより、潜在ニーズの確認及び地域移行を促進させる土壤づくりを目指す

取り組み① ハートフル川崎病院の協議会への参画
→ 平成27年8月に実現！（七区ではじめて！）

取り組み② ハートフル川崎病院との交流会の企画
(病棟見学、ニーズ確認、病院による地域移行の取り組みの共有)
→ 実施に向け前向きに検討中！



ボランティア育成委員会では…

目標

障害があっても無くても、高津区で暮らす人々が、

自分の経験を 地域で『ちょっとしたお手伝い』として 活かせる

「当事者やその家族などが自由に集える場」をつくることを目指す



到達点

地域の人とともに「当事者自身がボランティアを行う」ことをお手伝い

平成27年1月 ええんじやないか祭り

(物品販売補助)

平成27年7月 高津区民祭

(自主製品販売等)

当事者の声

自分の経験を地域で活かすことができた！

不安はあったが、できたことで自信が持てた！！



到達点

ボランティア育成委員会での目標

⇒これを当事者とともに取り組むこと

=高津区でこれまで考えていた当事者参加



「当事者が自分の経験を活かす」仕組み作りには着手できた

反省点

自分の経験を地域で『ちょっとしたお手伝い』として活かせる仕組みはできつつあるが、

「自由に集える場」をつくるまでには至らなかった

今後について

目標を達成するため、さらに5か年の計画を立て、それを実行する！

具体的には…

・イベントボランティア、生活する中でのお手伝いを継続

・当事者・家族が自由に集える場を作るため、場所・助成金などを調べる

交流企画係

《目的》 福祉、教育、地域の連携を図り、当事者の方たちの思いを地域に発信する。

《内容》 他機関と交流しながら行う企画の立案、準備

今年度の企画

- ★ケアマネ連絡会との交流会（9月28日）
- ★手をむすぶ親の会高津支部主催の研修会（モデルケースを紹介、ライフステージに沿った支援）（11月5日実施予定）
- ★まちづくり協議会に参加。災害弱者から話を聞き、地域で何が出来るかを考える学習会（12月1日実施予定）
- ★地域包括支援センターとの交流、連携企画（2月頃の予定）



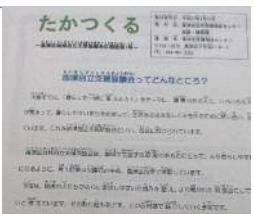
広報係

《目的》 地域自立支援協議会の活動を広報誌を通して、地域に発信する。

活動内容

・広報誌の発行

→高津区にお住いの皆様が障害の有無を問わず「住みやすい」と思えるような「やさしい街」だと感じられるようなそんな街になってほしいと高津区自立支援協議会は考えています。そんな想いを発信できたらと思います。
・ホームページの更新



<当事者参加について>

高津区での当事者参加・・「地域の生活者として、自分のできることで参加し生かすこと」

会議の場ではなく、地域で「集える場」を想定し計画
(ボランティア育成委員会が実行部隊の役割)



イベントの参加や手伝い等を呼びかけ、参加できるような
「場」づくりのため実行



その形は続けながら、構成員としての会議への参加も必要という考え方が出る



公募の形をとることにし、検討委員会を設置し検討、全体会議で議論



平成27年10月29日（木）

地域でつながる ～顔の見える関係を作ろう～

地域包括支援センターとのつながり

宮前区地域自立支援協議会

はじまり

- ・ 宮前区地域自立支援協議会での課題整理
- ・ 一部の障害者生活支援センターが地域包括ケア連絡会議へ参加
- ・ 個人的なつながり

地域包括支援センターとの交流会 1

平成22年 7月7日

地域包括支援センター連絡会議の社会福祉士部会が企画する交流会に参加
(障害者生活支援センターと希望者)

- ・その後は平成25年度まで年1回開催

地域包括支援センターとの交流会 2

- ・平成26年度
地域包括支援センター連絡会議と自立支援協議会
双方の企画で年2回実施

8月19日 自立支援協議会企画（事例検討）
地域包括支援センター連絡会議との連絡会

12月4日 地域包括支援センター連絡会議企画
(事業所紹介)
自立支援協議会との連絡会

今年度の取り組み

平成27年度 くらし専門委員会

8月18日 自立支援協議会主催

地域包括支援センター連絡会議との連絡会

「住みなれた地域で
安心して暮らし続けることができる地域
を実現するために」



- 12月 交流会予定

その他の取り組み 1

平成23年度 高齢専門委員会

平成24年度 重度高齢専門委員会

- 8月2日高齢者虐待防止法についての勉強会
- 平成25年 2月
「高齢期を迎える重度障害者の実態調査」

その他の取り組み 2

- ・平成25年度 重度高齢専門委員会
- ・10月「在宅生活を送る当事者・家族の日常生活における困り感について」実態調査
- ・12月「障がいのある方のくらしを考える」(地域交流会)にて実態調査の結果を報告
- ・平成26年度 くらし専門委員会
- ・防災についての勉強会、実態調査
- ・市民向け防災イベントの開催

地域包括支援センターとの つながりから・・・

公園体操や認知症カフェ、各地域包括支援センターが行っている介護予防の取り組み等を知ることができた

障害のある方が介護保険サービスを利用するときに必要な情報を教えてもらうことができた

とにかく顔の見える関係ができた！！！

地域自立支援協議会との つながりから・・・

高齢・障害・行政と、様々な立場の方での意見交換は とても有意義だった
制度の仕組みや支援することへの考え方の違いに触れることができた
お互いの機能や役割について、理解をすることことができた
当事者・家族が一緒に参加しているのがよい取り組み。話を聞けてよかったです

これからも・・・

顔の見える関係が日頃の支援に！

地域包括支援センターとのつながりを大切に！

そして、地域とのつながりを大切に！！

多摩区地域自立支援協議会での取り組み

平成27年10月29日(火)
川崎市自立支援協議会 連絡会議

多摩区地域自立支援協議会 今年度目標

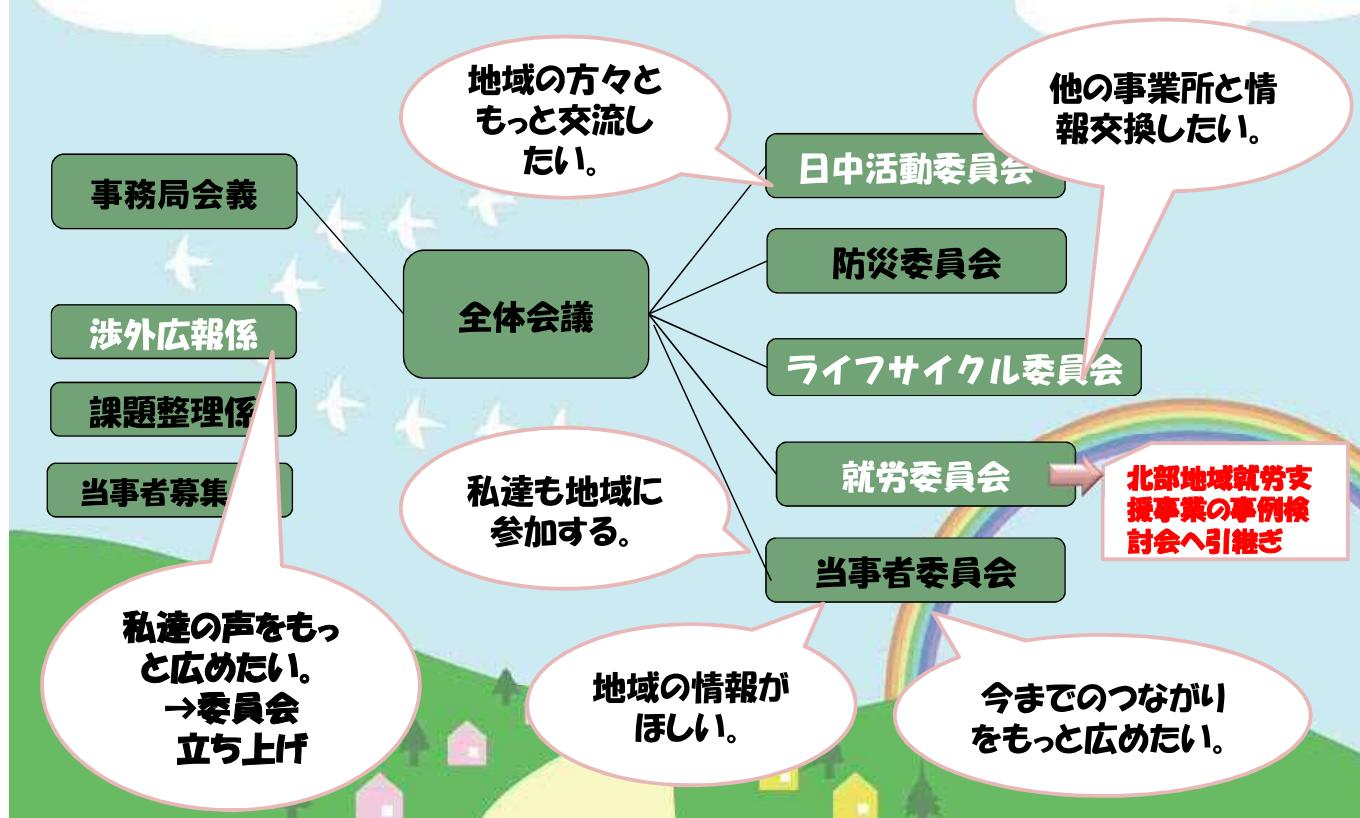
障害者も共に楽しく生きる街づくり

地域に出よう！

GO!

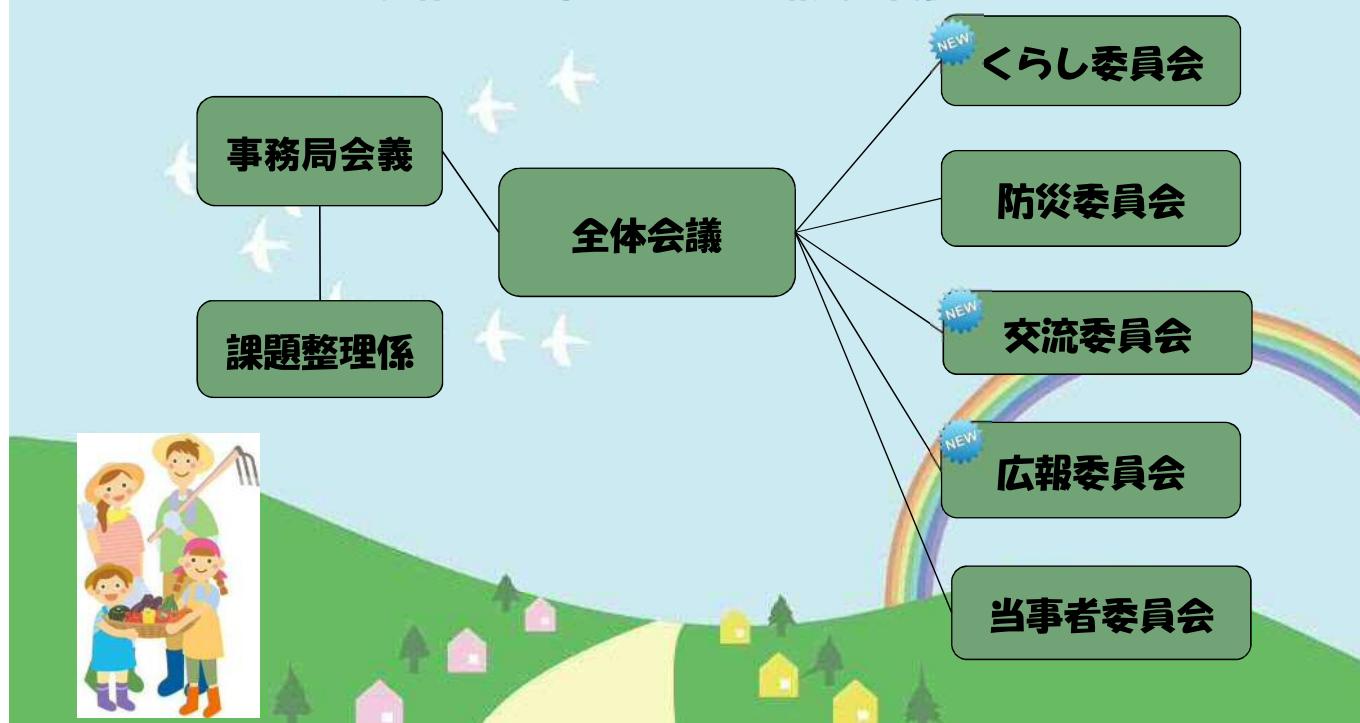


平成26年度の活動体制→ 地域に出ていくためには



平成27年度の活動体制

事務局会議、各委員会は 月1回 開催。
全体会、当事者委員会は 隔月 開催。



(くらし委員会)

地域のイベント、サークル活動の情報を集め、障がいのある方も参加できるものについて情報発信する活動をします。



多摩区内のイベント等
の発信→

(防災委員会)

東日本大震災をきっかけに災害時に
おける自助、共助、公助について考える
活動を行っています。

・緊急時おたすけカードの普及活動

多摩区自立支援協議会のホームページから、
ダウンロードできます。ご活用ください。

・災害時の地域とのつながり作り

川崎市総合防災訓練に参加
防災関係者と災害時要援護者避難支援制度についての話し合い
今年も多摩区防災フェアに参加予定



【交流委員会】

多摩区内の関係機関がお互いに顔の見える、横のつながりが持てるように活動しています。

- ・児童関係の事業所との顔合わせ
- ・軽度知的障害者の交流会の継続

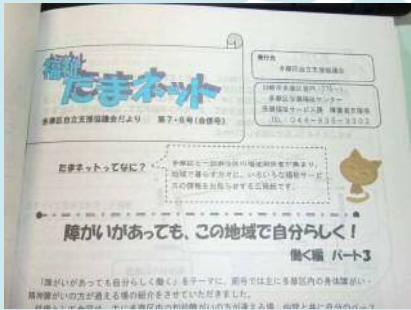


交流会の様子
風船バレーをしています



【広報委員会】

『知らせること。見てもらうこと。読んでもらうこと。
～今を伝える・活動を伝える』



・デザインを
より見やすく
改良



【当事者委員会】

・当事者が行きやすいトイレや店の
情報収集。まずは登戸駅周辺から。

・登戸駅から区役所までのバリアフリー
状況等、街中調査をしてマップを作成す
る予定。



とびこもう地域の中へ つながろう麻生

麻生区地域自立支援協議会



テーマ：とびこもう地域の中へ つながろうあさお

- ・昨年度の活動：「日中活動」「街の悩み」「ネットワーク」「家族」について毎月1テーマずつ討議



地域課題の整理・把握



もっと地域の中で活動することが必要！



- ①当事者や家族に対し、福祉サービス等の情報を届けたい
- ②共生社会を目指したい
- ③麻生区地域自立支援協議会の認知度アップ

専門委員会の設置

①児童委員会

障害児やその家族が抱える問題について取り組む。

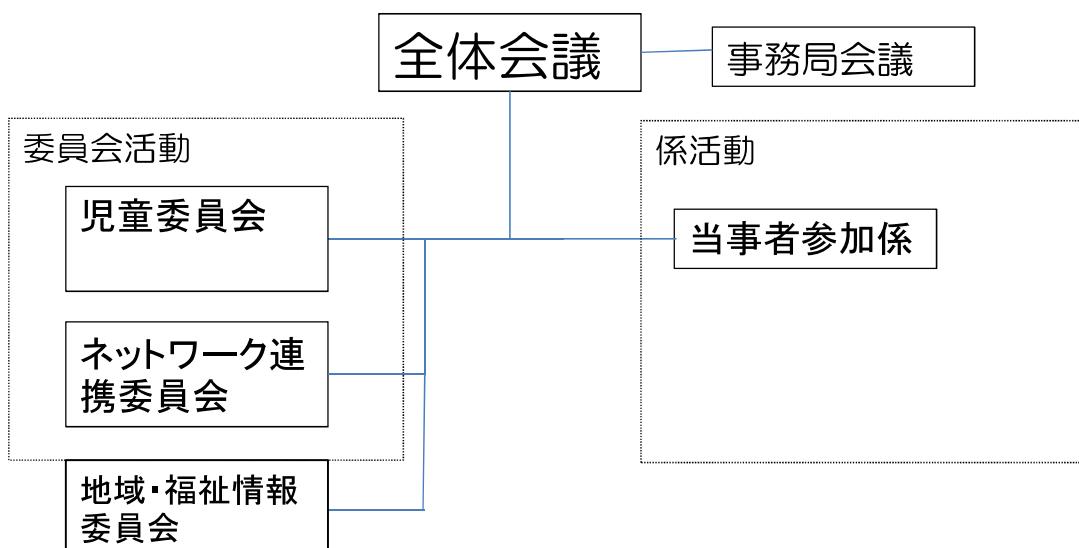
②ネットワーク連携委員会

福祉団体以外（学校、企業等）を対象とし、障害深めるための活動についての検討や実施をする。

③地域・福祉情報委員会

当事者や家族に対して福祉情報を提供する。

組織図



ネットワーク連携委員会の活動について

平成27年度より新しく発足した委員会です。

目的

障害のある人もない人も共に生きる社会をつくるため麻生区の福祉団体以外（企業や高校や大学等の教育機関）と連携できるようにつながりの方法や手段を考えていく。

主な構成メンバー

アルデンテ、麻生区社協、百合丘日中活動センター、百合丘就労援助センター、百合丘障害者センター、ゆりの木、日だまり工房、働くしあわせ、しらかし園、柿生学園、当事者等2名、相談支援センター（柿生、あさお基幹）

ネットワーク連携委員会 今年度の活動内容紹介

今年度は主に2本立てで活動しています。

①地域福祉交流講座の開催。

目的：障害の理解を深め「ともに生きる」ことについて考えてもらうきっかけとなるよう開催。夜間開催とし社会人や学生が参加しやすい時間帯を設定する。

内容：手話に興味をもってもらうと同時に聴覚障害の方の生活を知る。

実施日：平成27年度11月25日（水）19時～20時半

会場：麻生スポーツセンター研修室

講師：麻生区聴覚障害者協会より

対象者：社会人、学生（高校生以上）等一般の方

②企業訪問インタビュー

新百合ヶ丘周辺の商業施設を対象としてインタビューを行う。

第一弾として黄色いレシートキャンペーンで有名なイオントリーテール株式会社イオン新百合ヶ丘店に訪問決定。

- 目的**：○積極的に地域への社会貢献事業に取り組んでいる企業を訪問し
具体的な取り組みに関する情報をいただき、地域の皆様と共有し
福祉意識の向上を図る。
○誰もが暮らしやすい地域づくりを目指して企業と連携し共に出来
る事を検討していく。

内容：○福祉的配慮に関する基本的な方針について

○バリアフリー対応の具体例について

○障害者（児）への福祉的配慮、対応等の際に困惑されたり困難と
思われた事例について

○障害者雇用の現状について

○新百合ヶ丘店独自の取り組みについて

訪問予定日：平成27年10月上旬

平成27年度 児童委員会における活動



ピア
学習会

リーフ
レット
作成

出張
相談会

福祉
教育

とびこ
もう
地域の
中へ
つなが
ろう
麻生



出張相談会

25年度

- ・千代ヶ丘小学校試行
- ・長沢小学校試行

相談する場所を
知ることが出来
て安心した！

26年度

- ・東柿生小学校試行
- ・百合丘小学校試行

将来の漠然とした
不安が少し解消で
きた！

27年度

- ・4月麻生区小学校校長会
にて説明
- ・**麻生区の事業化に成功**

これからも、こ
のような機会を
設けてほしい！

今後

もっともっと
飛び込もう！



- 麻生区小学校校長会で説明したが・・・
現場に浸透していない。
- 中学校支援級への支援を広げたいが・・・
きっかけがない。
- 保護者、教員へのネットワークとして、定着
できるには・・・

インクルーシブ教育の推進

教育・福祉・医療のネットワークの構築

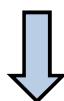


福祉・地域情報委員会

～当事者、家族に対して福祉情報を提供するには～

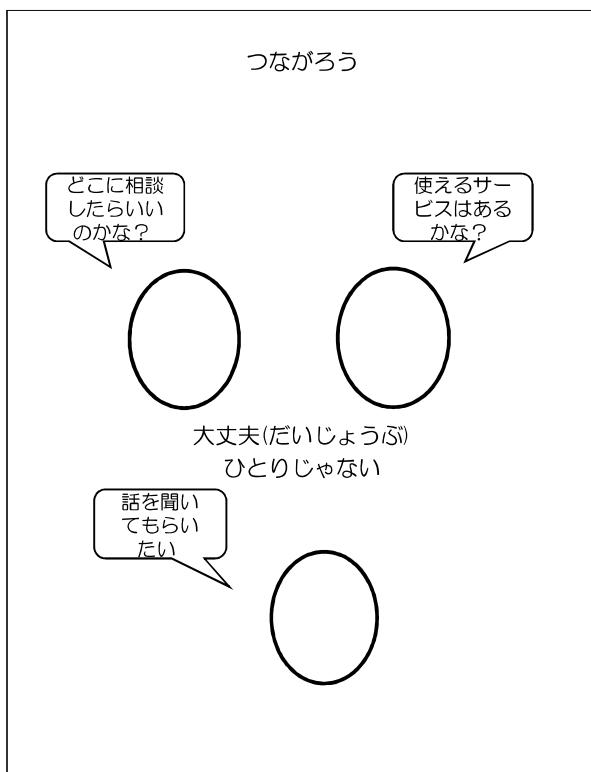
生活をする上で困りごとを抱えている人は
地域にいるのではないだろうか？

どこで福祉情報が聞けるか分からないので
は？



そうだ！相談窓口が載っているカード
を作ろう！！

ココナンデス！カードをつくろう！



お困(こま)りごとはこちらまで	
麻生区役所 (高齢・障害課)	044-965-5159
あさお基幹 相談支援センター	044-299-8895
地域相談支援センター 柿生	044-987-1794
地域相談支援センター ひまわり	044-322-9591
地域相談支援センター それいゆ	044-969-7447

健康(けんこう)・生活(せいいかつ)・働く(はたらく)ことなど
困(こま)っていること、不安(ふあん)なことはありません
か？相談員(そうだんいん)が一緒に(いっしょ)に考(かんが)え
ます。悩(なや)んでいるあなたやご家族(かぞく)、地域(ち
いき)の方(かた)、
お気軽(きがる)にご相(そう)談(だん)ください。
このカードは障害のある人が住みやすい街づくり
を目指して作成しました。
麻生区地域自立支援協議会

あさお福祉祭りでアンケート

区役所

学校

駅

病院

調剤薬局

公共施設（図書館等）

スーパーマーケット

コンビニ

福祉施設

その他

どこに置いたら手に取りやすいですか??

どこがいいかな?



当事者参加係

前年度、ランチミーティングを行い、当事者方の感想や意見を伺いました。

任期は2年としています。今年度はその2年目に当たるため、募集に向けて準備を進めています。